



「平成生まれ」も今日から大人の仲間入り

新成人の新たな門出を祝い、「成人式」が市民会館で行われました。市内の新成人1411人のうち984人が、華やかな振袖やスーツ姿で出席。今年は、昭和63年4月2日から平成元年4月1日生まれが新成人となり、平成生まれが初めて大人の仲間入りをしました。会場では、久しぶりに再会した友人たちとのおしゃべりで、いつまでも笑い声が響いていました。(1月11日)



ツェッペリンNT号が飛来

ツェッペリンNT号が飛来し、市内を周遊しながらおおつ野四丁目にある東部地区市民運動広場で緊急離着陸訓練を行いました。この訓練は、埼玉県桶川市の河川敷にある運航基地が冠水したときの避難場所に想定して行われたものです。見物に訪れた人たちは、全長75mもある巨大な飛行船が近づいてくると、その雄大さに驚きの声を上げていました。（12月25日）



新春を飾る恒例の「消防出初式」

消防署と消防団などおよそ800人が参加し、市民会館や土浦港などで「消防出初式」が行われました。川口二丁目の土浦港北側広場では、土浦市とび職組合による木やり歌やはしご乗りなどを披露。土浦港では、霞ヶ浦に向かって消防車50台などによる一斉放水が行われ、その勇壮さに見物に来た多くの観客からは、大きな歓声があがっていました。（1月10日）



1年間の健康を願う「どんど焼き」

しめ縄や松飾りなどを燃やし、無病息災を願う正月の伝統行事「どんど焼き」が、桜川河川敷で行われました。大勢の市民が持ち寄った正月飾りが高く積み上げられ、点火すると勢いよく燃え上がり、だるまが次々に投げ入れられました。参加した人たちは、竹に刺した餅を火にかざしながら焼き、1年の健康を願いながら食べていました。（1月12日）

